

文書番号	JIM433-1
制定日	H30.4.2
改訂日	R1.4.1

令和元年度 環境目標一覧表

	基本方針	共通目標項目(全所属)	単年度目標	長期目標
1	循環型社会、低炭素社会の構築を目指した一体的な取組の推進	電気使用量の削減	17,766,205kWh以下とする	—
		灯油使用量の削減	512,698.7ℓ以下とする	—
		ガソリン使用量の削減	5,738.2ℓ以下とする	—
		軽油使用量の削減	45,898.9ℓ以下とする	—
		OA用紙の使用量の削減	1,218ペ以下とする	—
		ごみ排出量の削減	可燃ごみ980.35kg以下とする 不燃ごみ168.6kg以下とする	—
		グリーン購入推進について、特定調達物品等における調達率95%以上の品目数の割合を向上させる。	79%以上とする	—

	基本方針	所属目標	担当所属
	安心安全な施設運営	職員の意識向上のための研修を年間通して適宜実施する	安全推進室
		CO排出濃度の30ppm(1時間平均値)超過回数を年間24回以内とする	クリーンパーク折居
		CO排出濃度20ppm(4時間平均値)超過回数を年間6回以内とする	クリーンパーク折居
		熱しゃく減量(乾灰)を0.9%以下にする	クリーンパーク折居
		CO排出濃度29ppm(1時間平均値)超過回数を年間18回以内とする	クリーン21長谷山
		熱しゃく減量について4%を超過する回数を年間4回以内にする	クリーン21長谷山
		埋立に使用する覆土の使用量を埋立廃棄物の量に対して2割を上限とする	グリーンヒル三郷山
		6月から10月までの降雨時期に発生する過剰浸出水の処理量を100m ³ /日までとする	グリーンヒル三郷山
		充電池等により発生した小火災休止時間を日常的に平成30年度の小火災休止時間(71分/月平均、857分/年)以内とする	リサイクルセンター長谷山
		循環型社会、低炭素社会の構築を目指した一体的な取組の推進	環境まつりにおいて来場者満足度85%以上を達成する
年次有給休暇取得日数を平均16日以上とする	総務課		
支払に伴う債権者集合(集合明細)の活用を平成30年4月～31年3月実績以上にするため、各所属に対して債権者集合(集合明細)の活用を促す	会計課		
し尿の溢れによる環境汚染の恐れのある、長期収集停止者及び共同トイレ未登録者の10%の削減を図る	業務課		
4台中継車の平均燃費を平成30年度の換算燃費実績に対して維持・向上する	施設課(沢中継場)		
水資源(井水)の使用量低減(下水道排水で使用する井戸水の水量を年間通して463,440m ³ 以下にする)	施設課(クリーンピア沢)		
年間売電量を焼却量1tあたり248.7kWh以上とする	クリーンパーク折居		
事業系ごみにおける搬入不適物の確認の妨げとなる有色袋の使用割合を年間50%以下とする	クリーン21長谷山		
分析調査における不適物混入割合を日常的に平成30年度の不適物混入割合(28.32%)以下とする	リサイクルセンター長谷山		
衣服譲渡枚数を年度内に平成30年度実績数の3,944枚以上とする	エコ・ポート長谷山		
ビン類の資源化率(搬入量に対する資源化物搬出量の割合)を平成30年度実績(51.09%)以上にする	エコ・ポート長谷山		